



くすり博物館だより

〒483 岐阜県羽島郡川島町・内藤記念くすり博物館・Phone: 058689-3111

第12号



特別展 切手にみるくすりと健康

Medical Pharmaceutical & Botanical Stamps



◀アイゼンバ
ルト(ドイツ・
1663~1727)

昔の外科医
は床屋である
場合が多く、
彼も当時秀れ
た床屋外科医
であった。(西
ドイツ・1977)

特別展 切手にみるくすりと健康

、— 世界140カ国の切手3,115枚が一堂に!! —

- 昭和58年 8 月 9 日～10月30日
- くすり博物館 3 階特別展示場

夏休みや秋の遠足に、親も子も楽しみながら医療や薬について関心を深めてもらおうと開催しています。

小さな紙片にすぎない一枚の切手から、私たちは実にいろいろなことを教えられます。たとえば、切手の片隅に書いてある国名から、地理や歴史、国情などがわかることがありますし、図案から記念行事、人物や植物、動物など体系的な知識へと発展

していきます。

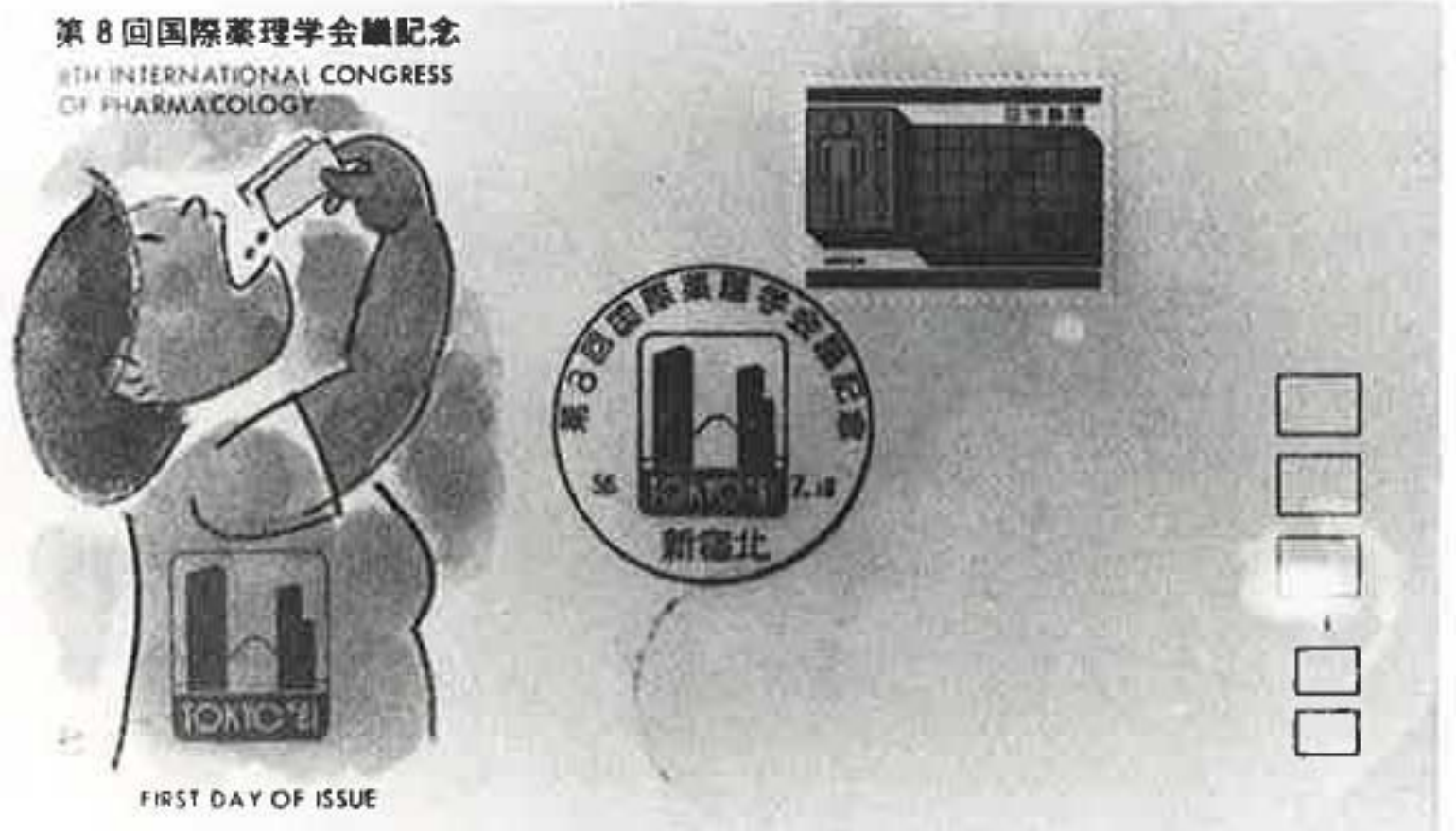
従来の当館の医薬切手コーナーは根強い人気を保ってきた展示ですが、それをさらに発展させたのが、今度の特別展です。

切手の展示は次の5つのテーマから成っています。①薬用植物を核とした植物切手、②医学者などの人物切手、③赤十字切手、④さまざまな疾病や看護婦などを扱った医療切手。

展示総数は3,115枚(切手シートや初日カバー・切手帳も1枚と数え、重複なし)です。国内の切手はもとより世界140カ国の切手があります。



▲植物学者リンネ没後200年記念 (スウェーデン・1978)



FIRST DAY OF ISSUE

植物切手 (1555枚・256リーフ)

桜、百合、桔梗、福寿草など身近な植物が、美しいだけでなく薬用にもされていることに驚かれることでしょう。

ケシ、チョウセンアサガオ、トリカブト、ジオウ、ジキタリスなど薬

用植物は、この特別展示品中 135種にのぼり、枚数にして 500枚近くあります。

1555枚の切手は1枚の重複もなく140の科に分類され、整然とリーフにレイアウトして展示されています。

キク科、バラ科、ラン科などは切手の種類も多く、見るだけでも壮観

です。国別あるいはシリーズ別に植物切手を整理するのは、比較的たやすいことですが、このように140もの科に分類して展示されているものは、一見の価値がありましよう。

また、植物切手に関連して「国土緑化運動」切手が29枚、植物学者の切手なども展示されています。



人物切手 (403枚・79リーフ)

パストゥール、コッホ、シュバイツァーなど37カ国、247人におよぶ細菌学者・病理学者・生物学者などの人物切手が、それぞれ国別・年代順にリーフに整理され解説が付けら

れています。



▲フレミングとペニシリン
左はMagyar (ハンガリー)の切手ですが、右は国名が書いてありません。世界で初めて切手を発行した英国 (1840年) では、国名を入れないのです。その代わりに、女王様の顔がどの切手にも入っています。



医療切手 (805 枚・123 リーフ) は次の4つのテーマに分かれます。

a) 疾病 (341 枚) ……ガン・心臓病など11種類の疾病が取りあげられています。中でも多いのが

結核の81枚、天然痘の75枚、マラリアの73枚、癩病の40枚といった病気です。

b) 各種学会 (74枚) ……各国で開かれた医学会・薬学会の記念切手です。初日カバーもあります。

c) 看護婦 (55枚) ……ナイチンゲールをはじめ看護婦をテーマにした切手です。

d) その他 (335 枚) ……WHOや障害者、保健衛生、母子の健康などをテーマにした切手です。



赤十字切手 (292枚・49リーフ)

それぞれ国別に整理され、お国ぶりが一目瞭然。

世界最古の付加金つき切手 (1914年・フランス) をはじめ、東京で開かれた赤十字国際会議 (1934年) や赤十字75年 (1939年) 切手などもあります。下の写真がその一例です。



医薬関係切手とは、いささか趣を異にしますが、この他にスミソニアンとか科学博物館などをテーマにした博物館切手 (44枚) や度量衡の切手 (27枚) も展示してあります。



新収蔵資料

※天然痘関係資料

4月から6月にかけて開催した特別展「天然痘ゼロへの道」を契機に多方面から種痘証明書など寄贈されました。また、同展に出品した資料をそのまま寄贈しようという申し出もあり、WHO本部 (スイス) をはじめ大竹勝氏 (モンキーセンター学芸員) などから貴重な資料を頂戴できました。

※医薬関係切手3500枚

従来、当館で収蔵の切手に加えて特別展開催のため、新たに1,800枚程購入しました。

また、著名な蒐集家・伊藤隆介氏 (エーザイ) から1,517枚寄託されました。7月中に全ての登録、分類と整理を完了、展示準備に当てました。



◀切手の一例。
左からソーセイノキ、フサマメノキ、コーラ (清料飲料)、カカオ (チョコレート原料)。

とびっくす

▶特別展「天然痘ゼロへの道」終了

関係各方面に反響を呼んだ同展は6月30日で終わり、ロンドン科学博物館期間中、報道機関の取材も多く、見学者は熱心にメモを取っていました。

▽来館したロンドン科学博物館のフリーマン氏 (左から2人め)



物館のフリーマン氏もジェンナー像の梱包に立ち会うなど、全展示資料は無事、7月上旬までに返納されて全ての業務を終了しました。

期間中の川島での見学者も2万人に近く (黄金週間だけで6,000人)、普段の約1年分の入館者に匹敵するような見学者があったこととなります。

